
経済 TOPICS

No. 216

(2023年5月23日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 生産や設備投資で横這い圏内の動きが続いているものの、消費や輸出が緩やかに持ち直していることから、全体としては緩やかに持ち直している。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇や欧米の金融不安のほか米国の債務上限問題の影響が懸念されるなど、先行き不透明感の強い状態が続いている。
- 米国 … 個人消費や設備投資が横這い圏内の動きとなっているものの、生産が緩やかな持ち直しの動きになっているほか、雇用の非常にタイトな状態が続いていることから、全体としては減速しつつも緩やかな回復を続けている。消費者物価は、ピークアウトしたものの、サービス価格の上昇が続いている。
- 欧州 … 輸出が減少に転じ、生産も弱めの動きとなったほか、消費や設備投資の前年比プラス幅が縮小するなど、持ち直しの動きが弱まっている。この間、金融不安の影響が懸念されている。消費者物価は、ピークアウトしたものの、サービス価格の上昇が続いている。
- 中国 … 消費や輸出が持ち直しに転じているが、生産が弱いほか、不動産開発投資の大幅な減少が続いていることから、全体としては減速し続けている。この間、景況感はゼロコロナ政策の転換以降、改善している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
